

2023年1月1日～2024年12月31日の間に9階中病棟に入院され、 入院期間中に感知式マットを使用した方及びご家族の方へ

「離床センサーを使用している入院患者が転倒事故を起こすリスク因子の検討」
へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

| | | | |
|-------|------------|----------|-------|
| 研究責任者 | 川崎医科大学附属病院 | 9階中病棟看護師 | 佐藤美穂 |
| 研究分担者 | 川崎医科大学附属病院 | 9階中病棟看護師 | 三宅海希 |
| | 川崎医科大学附属病院 | 9階中病棟看護師 | 井上由美子 |
| | 川崎医科大学附属病院 | 9階中病棟看護師 | 小坂咲 |

1. 研究の概要

病院内での患者さんの安全を守るうえで、転倒転落事故（以下転倒事故）は、薬剤に関連するものと並んで、その発生頻度が高い傾向にあります。9階中病棟においては入院時に転倒リスクアセスメントツール等を用いたリスク評価によって、事故防止を行ってきました。今回の研究では、過去2年間の入院患者さんを対象に、診療録を後ろ向きに調査し、離床センサーを使用したにもかかわらず転倒事故を起こした患者さんを調査し、転倒を起こすリスク因子を検討することとしました。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023年1月1日～2024年12月31日の間に川崎医科大学附属病院9階中病棟に入院された方のうち、入院期間中に感知式マットを使用した方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年12月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に9階中病棟に入院された方で、研究者が診療情報をもとに転倒事故を起こす危険因子のデータを選び、転倒事故に関する分析を行い、転倒事故の出現する仕組みについて調べます。

4) 使用する情報の種類

性別、年齢、疾患（悪性、良性）、認知症の有無、せん妄の有無、眠剤使用の有無、他の転倒に影響を与えると考えられる薬剤、手術の有無、家族の面会、点滴の有無、カテーテルの有無、酸素投与の有無、転倒歴の有無

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院9階中病

棟のパソコン内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とさせませんので、2025年3月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 9 階中病棟

氏名：佐藤美穂

電話：086-462-1111 内線 29240（平日：8時30分～17時00分）

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。